



俳句

玉井北男 選

冬晴や合格の声受話器より
 廃屋の崩れしままや過疎の冬
 椿咲きメジロと遊ぶ日和かな
 手習いの亡き師を偲ぶ梅一輪
 笑み交す一期一会の遍路旅
 山寺の和尚が一人豆をまく
 生きのびて卒寿となりぬ年始め
 凍道を勤行の僧脚赤し

三谷福美
 尾崎康博
 菅博武
 秋山治子
 川原利代
 藤田ウメノ
 高橋和子
 岡田久夫

川柳

山之内さら枝 選

かくれんぼもういいかいと春の声
 竹の子が十二単で春を待つ
 ジャケットは嫌いと犬が言っている
 年中無休エプロンが好き料理好き
 ストレスを笑い袋ではねのける
 名曲は人の心を離さない
 人間のにおいを消しにゆく田舎
 呵呵大笑わしの宝はばあちゃんじゃ

杉シズ子
 松田とし子
 安森嘉子
 林マキ子
 曾我部美智子
 藤原彰
 池田千賀子
 川原玉江

短歌

田坂幸 選

犬猫も小鳥も足跡いまだつけぬま白き朝雪
 五寸積む
 一人来て北の温泉宿の露天風呂雪山眺め国訛
 り聞く
 節分に蕨の菘着るシンビジューム冠雪の下に
 蕾の覗く
 早春の光まぶしきき庭辺に淡紅梅の匂ひのゆ
 かし
 鶴の群等間隔に同じ向き電線ゆらす小春日の
 中
 垂れこめし雲間に光る陽光の冬空仰ぎ歩をゆ
 るめたり
 言ふことは何も無けれど父と子の差しつ差さ
 れつ呑む酒はよし
 認知症の兄は会う度戦場の苦しき日々を笑み
 つつ語る

山内レイ子
 菅博武
 元山莊一郎
 日和佐弥生
 美濃馨昭
 久門百合子
 藤崎泉
 高橋弘子

俳句・川柳・短歌 作品募集

■ 作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No. 36 チキンリキン



▲外国語指導助手

● マシュー・ラッセルさん

子どもの時に、「チキンリキン」というおもしろい物語を読んでもらった。シンプルな話だけど、元々はインドの仏教の物語で、深い意味も含まれている。簡単に紹介する。

ある日、ひよこが森をさんぼしていると、どんぐりが頭におちてきた。ひよこはとてもおどろいた。そして、あう友だちみんな

に「空がおちてくる」といった。みんなおどろいて、王さまにそのことをしらせに行った。とちゅうでおなががすいている動物とあって食べられそうになったりするがなんとかにげて、やっと王さまの所までたどりついた。ところが、どんぐりを見た王さまに、「空がおちてきたわけではないので、心配ない」といわれた。みんなはほっとして、自分たちのあわてふりをはんせいした。

剣道をしている私は、この話がとても気に入っている。この話が伝えたいのは、平常心を保つことの大切さだ。人間は、よく分からないもの、理解できないことに出合ったら、どんなに小さなことでも最初は怖いと思ってしまう。この気持ちに負けて、普段はできることでもできなくなってしまう。また、いつもならしないような間違いをして、他の人や自分を傷つけてしまうこともある。しかし、分からないことにあっても、おびえる前によく考えたら、真実が見えてくるだろう。恐ろしいことではないとわかるだろう。そうすれば、「空は落ちてなんか来ない。慌てることはない」と簡単に認識できる。落ち着いて、まわりをゆったりと見渡せる人間になれば、地に足をつけて一步一步前進していけるだろう。心も広くなるし…。